

循環器精密検診

動 向

当協会の循環器外来では、人間ドックの循環器系オプション検査のほか、健診結果で精密検査が必要な方や自覚症状を有する方に対し必要な非侵襲的検査を実施し、専門医療機関へのパイプ役を務めている。外来での精密検査の結果は次回の健診結果にもフィードバックされ、健診がより効果的で有意義になるといえる。

健診後の追跡調査では、悪性疾患を疑う検査に比べて循環器系の精検受診率が低いことが明らかになった。精検受診率を上げるための工夫が必要である。また、動脈硬化リスクファクターが集積すると、各因子が軽度異常であっても疾病発症の危険度は高まり、ハイリスク者は無症状の段階から循環器精検を受ける必要がある。平成25年度からは産業保健分野からも当外来での精密検査が受けやすくなるよう体制を整備している。

方 法

当協会の循環器精密検診は、横浜市立大学病院からの応援医師を含め循環器専門医が担当している。外来では、トレッドミル運動負荷試験、心臓カラードップラー超音波検査、頸動脈超音波検査、24時間ホルター心電図、24時間非観血的血圧測定、血圧脈波検査などの諸検査と医師の診察、保健指導を半日で効率よく受けることができる。さらに精密検査や専門的治療が必要な方は専門機関に紹介する。非観血的検査で経過観察できる受診者の多くは、当外来で定期的に検査を実施しながらフォローしている。また、労災二次健診では心疾患、脳血管障害の早期発見のため、頸動脈エコーやトレッドミル運動負荷心電図（または心臓超音波検査）も担当している。

結 果

平成24年度、人間ドックなどの一次健診後、新規に循環器精密検診を受診した者は、計104名（男性62名、女性42名）で、年齢は平均 62.5 ± 11.9 歳（26～88歳）であった。

受診者の流れをみると、人間ドックから71名、ACクラブから4名、産業保健10名、その他19名である。受診理由は、一次検査異常からの受診が84名（心電図異常52名、心雑音10名、心拡大・心陰影異常2名、高血圧8名、代謝異常12名）であり、胸痛などの自覚症状からは20名であった。

循環器精密検診受診者の検査データ（表1）は例年どおりで、人間ドック全受診者との平均値の比較

では特別な傾向は認められない。しかし、内服治療中の項目も含めて動脈硬化危険因子を抽出すると、一つ以上の危険因子を有するものは104名中81名（78%）と大半を占めている（表2）。危険因子数は1個が30名、2個28名、3個13名、4個以上10名でマルチプルリスクファクター症候群に相当する者が多く、リスクの頻度は脂質異常症、高血圧、肥満、耐糖能異常の順であった。

精密検査の内容は、トレッドミル運動負荷試験32名、心臓超音波検査66名、24時間ホルター心電図15名、頸動脈超音波検査8名、血圧脈波検査10名等である。トレッドミル運動負荷試験の判定結果は32名中、陽性2名、境界域3名、陰性27名であった。心臓超音波検査からは、高血圧性心肥大7名、肥大型心筋症2名、急性冠症候群疑い1名、弁膜症26名、左室壁運動低下3名、左房拡大2名が診断された。ホルター心電図では発作性上室性頻拍、非持続性心室性頻拍、2度房室ブロックなどが発見された。

精査の結果、最終的に心配なしと判断されたのは34名、健診で経過観察すればよいものの29名であった。さらに精密検査や定期的に検査を行う必要があるものおよび治療が必要なものは41名で、この内12名は横浜市大附属病院、横浜市南部病院など専門医療機関に紹介された。紹介先の医療機関では、冠動脈CT検査、心臓カテーテル検査、心臓核医学検査（心筋シンチグラム等）などが行われ、経皮的冠動脈インターベンション（PCI）などの血行再建術や弁置換術を受ける者もあった。

労災二次健診の受診者は113名で、昨年度同様、受診者多数が続いている。この受診者の一次健診時のデータは、年齢 52.0 ± 10.0 歳、肥満度 30.6 ± 21.3 ％、LDLコレステロール 143 ± 36 mg/dl、HDLコレステロール 51 ± 11 mg/dl、トリグリセライド 226 ± 115 mg/dl、空腹時血糖 146 ± 71 mg/dl、収縮期血圧 149 ± 14 mmHg、拡張期血圧 96 ± 11 mmHgであった。循環器検査を行った結果、トレッドミル負荷試験実施者108名中陽性または境界域が20名（19%）、頸動脈エコーでは52名（46%）にプラークが認められた。当健診はマルチプルリスクファクター症候群が対象者であり、比較的若年者でも高率に頸動脈プラークがみられ、また負荷心電図で虚血性心疾患が疑われた15名が他機関を紹介された。ハイリスク者に対する早期の循環器精検の必要性を示唆する結果である。

関係の集計表は131頁に掲載